

表1 成果の展開

	特許名称	出願番号	技術の要点	展開状況	技術移転・商品化状況・見込み
第1分野	○輝度計 ○赤潮検地装置	特願2003-172828 出願手続中	太陽の散乱光を排除して、海中からの反射光のみを捉える輝度計。赤潮の着色現象を輝度計で計測し、赤潮の発生を検知する。	試作品を作成し、実海域で評価試験を実施。 研究成果移転フェアで展示。	試作品を完成。 技術移転企業の発掘を続ける。
	○魚病細菌検出基板 ○微生物群集の解析方法 ○遺伝子検出方法	特願2003-300623 特願2003-300624 出願手続中	・魚病細菌のDNAをチップ化して、魚病発生時の病原菌を現場で検知する。 ・技術を活用して、赤潮の消長に関わるバクテリアのDNAをチップ化し、赤潮発生の予知に用いる。	特定海域バクテリアの赤潮消長に関わるアルゴリズムと赤潮発生の予知手法を創出。	実海域において実用検証試験を行い、データを蓄積する。
	○アルギン酸オリゴマー-免疫賦活剤 ○サイトカイン分泌促進剤 ○ウイルス感染症対策飼料	特願2003-385701 特願 2005-361056 出願手続中	特定分子量のアルギン酸オリゴマーがウイルス感染症に対し免疫賦活効果があることを検証できた。	マウスへの腹腔内あるいは経口投与が血中のサイトカインを上昇させることを確認した。特産魚として開発中のマハタに対してウイルス感染症への効果検証を継続中。	魚の餌料に配合することで、感染症対策の飼料や健康食品としての効果が見込まれる。 マハタのウイルス感染症に対する効果の検証結果を確認した後に、共同研究企業への技術移転を考慮。

表1 成果の展開

	特許名称	出願番号	技術の要点	展開状況	技術移転・商品化状況・見込み
第2分野	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高効率ワムシ耐久卵の生産方法 ○ 人工海水 ○ 動物プランクトンの無菌培地 ○ 遺伝子導入針 ○ ワムシ耐久卵の精製・回収方法 ○ ワムシ耐久卵の製造方法 	<p>特願2003-323257</p> <p>特願2003-072203</p> <p>特願2003-382155</p> <p>特願2003-404282</p> <p>特願2006-024077</p> <p>特願2006-191866</p>	<p>ワムシは孵化直後の仔魚の餌料に不可欠の動物プランクトンである。ワムシを特定の環境で培養することにより耐久卵を大量に生産できる。耐久卵を保存処理し、仔魚の孵化時期に合わせて、必要な種類のワムシを必要な量だけ供給できる。</p>	<p>共同研究2社と耐久卵の大量生産方式の研究を実施。</p> <p>特定種類のワムシに所期の耐久卵を産ませる方法と耐久卵の保存処理方法を確立。</p>	<p>耐久卵商品サンプルを完成した。</p>
	○ 三次元計測計測装置	特願2005-121391	<p>水中の微小物体を回転する鏡を用いて捉え、実像と虚像のずれの差を計測することにより3次元的に移動状態を計量する。</p>	<p>水中に混合した微粒子の動きを追跡計測して、水の流れに置き換えることで、水流計測装置を完成。</p>	<p>共同研究企業に技術移転済み。商品として18年度に1式販売した。</p>
	○ 飼育水槽、水流の予測方法	特願2003-412841	<p>水流の方向を一定に保ちながら、仔魚の成長に応じて流速を制御できる機能を有する水槽。</p>	<p>特産魚のマハタの種苗生産に活用。他の魚種及び生産量に応じたサイズの水槽を、共同研究企業と共に試作して、魚種による特性、条件などを研究中。</p>	<p>複数の魚種に適した水流条件の評価が確立した後に、共同研究企業への技術移転を進める。</p>

表1 成果の展開

	特許名称	出願番号	技術の要点	展開状況	技術移転・商品化状況・見込み
第2分野	○生理活性物質含有乳化製剤 ○生理活性物質含有油性製剤	特願2005-227352 特願2005-227353	種苗生産に供する親魚の卵を成熟させる生理活性物質が、魚体内に注入した後に徐放されるような製剤。乳化製剤と魚体内に液状で注入後、固化する油性製剤の2種。魚体へのストレスが少ない。	特産魚マハタ、オニオコゼ等の種苗量産に活用してきた。これらの技術の組合せ応用により、着実に卵を成熟・排卵させ、多量の良質卵魚を確保できるようになった。	17年度から、(株)長崎県漁業公社へ技術移転した。 マハタは、親魚の長期育成が必要であることから、県内では、(株)長崎県漁業公社以外にマハタ親魚を飼育している企業はない。 長崎県内へ技術を留保するため、当面、県外の種苗生産企業への技術移転は見合せたい。
	○マハタ親魚の成熟・排卵誘導法 ○マハタ親魚の成熟・排卵誘導法	特願2006-84326 特願2006-84327	上記の乳化製剤及び油性製剤を実際に親魚に投与する方法。魚種、魚体、投与の場所、投与の時期などにより、適宜、使い分けができる。		
	○マハタの良質卵確保手法	特願2006-84328	上記の乳化製剤及び油性製剤とそれを投与する手法を用いて成熟させた卵を、最適のタイミングで採卵するための手法。		